



大勢の来賓の方々が参加されました。



参加者は黒岩知事の講演に熱心に聞き入っていました。



講演会終了後の懇親会にて知事と談笑。

第5回公開例会（第31回例会）

黒岩祐治神奈川県知事講演会

「黒岩知事と語ろう! 県央の未来」開催

■日時 平成23年6月20日（月）午後6時30分～8時
■会場 レンブラントホテル厚木 3階 相模の間

第5回目となる公開例会は、4月に就任したばかりの黒岩祐治神奈川県知事を迎えて、知事の就任後初めてとなる講演会を開催することになりました。今回の公開例会は、ソーラー発電メーカー（京セラ）や販売店3店が展示するなど、今までにない趣向で開会前のプレイベントを開催しました。

第1部の講演会は、飯田隆三副会長の開会のことばで始まりましたが、道路の渋滞により知事の到着が遅れたため、大泉会長の挨拶も順番的には最後になってしまいました。その間に、来賓の方たちの挨拶、招待者の紹介と挨拶、県央経営者会の5年間のあゆみの

DVDなどが披露され、黒岩知事の登場により、会場は非常に盛り上がりとなりました。来場者は予想していた250名を大幅に超え、立ち見の参加者を入れると350名以上の方々に参加されたと思われる（黒岩知事の講演内容は2ページ以降に掲載されていますのでご覧ください）。

司会は、海老名地区の久保田英賢理事が担当し、講演後には長谷川康幸副会長の「ソーラー都市推進特別委員会」設立の報告があり、吉村保典副会長による閉会のことばで第1部の講演会が終了となりました。

県央経営者会第5回公開例会

「ソーラー都市 県央を！」

特別講演 神奈川県知事 黒岩 祐治氏

1. 「マグネット神奈川」を目指す



今日のこの講演会は、私が知事になって初めての講演会となります。そこで、ここに至りたいきさつを少し述べます。実は、私が正式に知事に就任する前に、県央経営者会の大泉会長が、県央地域の鉄道各線のアクセス向上について陳情に來られました。まだ選挙後のごたごたした事務所、そのお話を聞きましたが、「要するに」県央の地域をどういう地域にしたいのかが見えてこない。私は、「マグネット神奈川」にすぎないと答えました。「マグネット」とは人を引き付ける力をもったものと考えています。例えば「マグネット病院」とは、良い医師や良いナースが集まる病院である。それと同じように、地域は「マグネット地域」を目指すべきである。

事例としてあげたいのは、熊本にある黒川温泉です。熊本市から80キロも離れた山間の小さな温泉です。このような温泉に人が吸い寄せられるように集まってくる。なぜか？ここにはマグネットをもつ全ての力があるからです。この一番のきっかけは何だったのか？ある時まで、黒川温泉も他の全国の温泉と同じくさびれかかった温泉地でした。ところがその一軒の主人、後藤哲也さんの旅館だけはお客さんが来る。なぜ集まるのか？後藤さんは、温泉に來る人は町の人だから、町の人の立場に立って考えることが必要だ。「自分の立場で考えてはいけない」と言っています。ここには大自然があるが、ほかには何も無い。そこで、自分の旅館の庭も回りも自然の樹木が生い茂る、自然を大切にしたり作りに改装した。そして、多くの町の人があこがれる露天風呂にこだわった。この方式を黒川温泉全体に広めていったのです。

以上の話を進めていくところに「マグネット論」が

出てきます。例えば箱もといわれるものをつくったところはどうか。本州と四国を結ぶ大鳴門橋。当初、この橋に地元の人々が期待したのは、神戸あたりから多くの人がやってきて地元がにぎわうと思っただけだった。しかし、今はもう人がやってこなくなりました。木更津と東京を結ぶ「東京湾アクアライン」も同じ。これは「マグネット」ではない。「駅」というものは、外から來る人がここに作ってほしいと思うところからできる。外の人が行きたくなる方が先ではないか？すなわち県央が魅力的な地域になる方が先ではないか、外の人が行きたくなる地域になったとき、もつと鉄道が便利になつたらよいということに結びついてくる。

2. 県央からソーラー革命を起そう

今から4年前に私は「太陽経済の会」という会を立ち上げて、ソーラー発電について勉強会をしていました。それが、神奈川県の知事になるということになって、選挙戦の最中にソーラーパネルを持ち歩いてきた。最初のうちは受けが良くなかったが、「脱原発」と言い出したら歩いてくる人の足が止まった。皆さん原発についてどうすればよいかわかっていないのです。また、「計画停電」は不便なものだと思つていましたが、じつは「危険なもの」なのです。産業が崩壊します。選挙の最中に箱根に行つて、湯本の商店街を歩きましたがほとんど観光客がいない。お客が來なければ旅館がつぶれます。そうすると関連産業がバタバタ倒れる。これの答えが「脱原発」だった。ソーラーパネルをもつて回り、4年間で200万戸の家にパネルをつける。夏の冷房用に間に合わせるため、5万から10万戸につけると言い続けてきました。

ここで出てくるのが議会です。「しまった！議会のことを忘れていた」ということです。「議会の日程を見ると、夏までに5万から10万戸は厳しいかな」と言つたら、翌日の新聞に「知事後退」と出ていました。

テレビ朝日の「フロントライン」という番組で「行程表はどうなっているか？」と聞かれましたが、「行程表は関係ない。神奈川からエネルギー革命を起す」と言い続けています。

「神奈川県ソーラーバンク構想」についてお話しします。ソーラーバンク構想は、自己負担なしでソーラーパネルを設置できるという構想です。パネルの設置はソーラーバンクができるまで待つてと言つたら、買え控えが起こつてしまった。そこで、仕組みはあとで考えるから設置できる人はすぐに設置してと言っている。一言い出したら言い続けること、一歩もぶれないことが重要です。また、「メガソーラー」については、33の都道府県知事が賛成してくれました。そうしたら管総理が1000万戸にソーラーパネルをつけると言い出しました。今月の26日にソーラー発電についてのフォーラムがありますが、この中で放映するDVDで、中曽根元総理が「これからは太陽国家だ」と言っています。

本当にマグネットの地域となるのは、地域の力が重要です。中で足を引く張る人がいるところはだめ。今やソーラー合戦が始まっています。ソーラーパネルと何かを組み合わせる。例えば、ソーラーとロボットを組み合わせてどんどん進めていけば、県央地域のマグネットになるのではないかと。私はその可能性があると信じています。また、予感も感じています。本当にやっつけていくな、県央からソーラー革命を起こそうではありませんか。(了)

「ソーラー都市推進特別委員会」からの報告

委員長 長谷川 康幸

早速、県央経営者会も特別委員会を設置して動きだしました。「ソーラー都市県央」を目指して、県央に住んでみたいと思われような地域にしたいと考えています。まずはソーラー発電の普及宣伝と、勉強をしていきたいと思ひます。

第32回夏季移動例会

「東北を励ます！」を目的に懇親旅行を実施

■日時 平成23年8月22日(月)～23日(火)

【旅程】 厚木～仙台～奥松島縄文村歴史資料館～秋保温泉「佐勘」宿泊～世界文化遺産認定の平泉中尊寺見学～厚木

8月22日(月)午前7時に、厚木の南口にある大泉邸前に参加者25名が集合。プリンスプル自動車の大型サロンのバスに乗って出発しました。今回は恒例になった理事会を出発早々に開催し、理事以外の方も参加して初めての車中会合になりました。途中渋滞もなく、予定通り奥松島の被災地を車窓から見学し、ボランティアの方々がお泊っている「奥松島縄文村歴史資料館」に、1000本の飲料水をお持ちしました(この飲料水は、㈱オーイズミダイニング様より県央経営者会に寄付されたものです)。一行は、道路がうねってしまった海際の広場から、震災に会われた多くの犠牲者の方々に黙とうを捧げました。また、会員の安斎蒼慶氏も仕事を通じて集められた義援金を、直接その場にいた責任者の方にお渡しすることができました。

これで旅行の目的を大部分達成することができたとということで、参加者一同その夜は素晴らしい宿「伝承千年の宿 佐勘」で、山海の珍味を堪能することができました。翌日は朝8時に宿を出発し、つい最近世界文化遺産に指定された、平泉中尊寺の金堂その他をめぐり帰途に着きました。しかし、行き帰りで1400キロもバスに揺られての強行軍で、さすがに皆さん帰りのバスではグッタリで、ほとんどの方が眠っていたようです。それにしても一人で1400キロも運転して下さった、運転手の小泉氏には感謝のほかありません。また、被災地へ必要な物資を届けるということでお骨折りいただいた、理事の久保田英賢氏と最後まで参加人員で苦労され、全工程を仕切ってくださった幹事の霜島 篤氏に感謝いたします。



チームアトムからのメッセージ

ロボット研究開発拠点都市推進プロジェクト

チームアトム代表 井 浩二

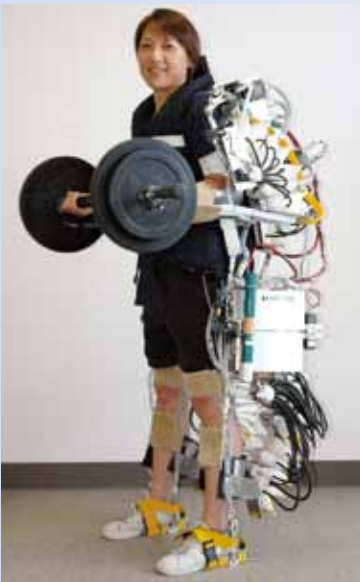
県央経営者会とリンクして活動する「ロボット研究開発拠点都市推進プロジェクトチームアトム」は今、産・民・学を駆使し、福祉ロボットというアイテムで一步一步歩んでおります。

未来は決して暗いものであつてはなりません、未来は明るいものでなくてはならないのです。愛してやまないこの街は自分たちの手で守り、そして進めることが不可欠なのです。しかしながら私たち一人一人のもった力は限りなく弱いものです。志を同じくする県央経営者会の皆様とは、さらに切磋琢磨、協力しあい、この県央地域の未来を明るい方向へと導けたらと思います。

【お知らせ】

県内7ヶ所で開催される「黒岩知事との対話の広場」。その中のひとつ「県央地区」にチームアトムが黒岩知事より指名されました。

11月1日(火)18時30から、ハーモニーホール座間にて山本圭治郎神奈川工科大学教授と北村正敏幹事長の二人が黒岩知事と対談されます。どうぞご参加ください。(詳細は折り込みチラシ)



各委員会活動・イベント報告

ソーラー都市推進特別委員会の活動報告

ソーラー都市推進特別委員会委員長 長谷川 康幸

この特別委員会誕生のいきさつは、すでに前回の会報にあるように、4月10日に黒岩氏が神奈川県知事選で当選を果たした直後の、まだ選挙の跡の残る事務所で大泉会長以下3名が表敬訪問したことに始まります。この会談で、黒岩知事は持論のソーラー推進とマグネット論を展開されました。特に県央の地域には「ソーラー都市 県央を！」という書まで揮号され、6月の例会には講演することも了承していただきました。これを受けて、会では早急に委員会を立ち上げ、ソーラー都市への取り組みを開始いたしました。

先ず、第1回目の会合を6月8日に開催し、全会員に呼び掛けてソーラーに興味のある方を募集しました。その結果30名の方々が応募し、早速部会分けと各会員の自己紹介をいたしました。これにより、黒岩知事の講演会に向けて、県央経営者会の取り組み姿勢をアピールすることができました。

第2回目の会合は、ソーラーパネルメーカーの京セラさんを招いて、太陽光発電の基礎知識を学習し、第3回目の9月16日は、三菱電機さんを招いてソーラーパネル事業の取り組みについて講義していただきました。

今後は、情報の収集に力を入れ、会員に役立つ情報を的確に発信していこうと考えております。



平塚市長訪問



平成23年8月25日(木)に、大泉会長、飯田副会長、長谷川副会長、福島事務局長の4名で、この4月に当選したばかりの落合克宏平塚市長を市役所に表敬訪問いたしました。幸い県央経営者会の活動に大いに共鳴していただき、今後平塚市との連携が活発化しそうな、大変良い感触を得ることができました。

暑さを吹き飛ばす バーベキュー大会開催される!

今年の暑い夏もやっと終わろうとする、8月29日〜30日にかけて、伊豆川奈の大泉会長の別荘で、盛大なバーベキュー大会が開催されました。テレビでチャットと見ただけでは想像できないほどの豪華な別荘で、全員思い切り食べて飲んで泳いで、夏のひと夜を過ごすことができました。



事務局便り

次回例会のお知らせ

日時 平成23年10月24日(月)午後6時より
場所 フォーラム246 5階大研修室
内容 ビジネス情報交換会(DVDによる会社訪問)

※詳細は追ってお知らせいたします。

○会報への投稿を募集します。情報、例会感想文など、形式は自由です。事務局までメール、手紙でご応募ください。

会員の 会社紹介 掲示板

この掲示板では会員の方の会社を紹介しております。会社案内、イベント案内など何でも掲載OKですので、是非、あなたの会社もPRしてみたいかでしょうか！。掲載無料ですので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。

住まい快適＝家族の快適

くもで

蜘蛛建設株式会社



代表取締役 蜘蛛 匠

〒259-1132 伊勢原市桜台 1-17-16

TEL 0463-96-1184 FAX 0463-96-0717

HP <http://www.kumodecos.co.jp>

事務所・工場・店舗・施設・住宅の新築・改修等、
建物の相談なんでもお気軽にご相談下さい。